

《 2014 憲法キャラバン 宣伝テープ流し 原稿》(確定)

■みなさん、こんにちは。こちらは、全国労働組合総連合、全労連です。

私たち全労連は、働くものの生活と権利を守り、人間として大切にされる社会を実現するために、運動をすすめています。

いま、「憲法をいかし、くらし・雇用・平和を守ろう」、「ストップ!『戦争する国』づくり かがやけ憲法! 全労連全国キャラバン」行動をすすめています。

■安倍内閣は、日本国憲法を変えて、日本を「戦争する国」に つくりかえようとしています。

とうとう、安倍内閣は、海外で武力行使を可能とする 集団的自衛権の行使を認める閣議決定をおこないました。

これは、今までの政府の見解を180度転換するもので、憲法に明確に違反します。

このような大転換を国会の議論もなしに、与党の密室協議で強行するなど、立憲主義を否定する閣議決定は、撤回するべきです。

憲法を守るべき義務を負う政府が、憲法を破壊するなど、許せません。

日本国憲法には、国民主権、戦争の放棄、基本的人権の尊重など、大切な中身がいっぱい詰まっています。いまこそ、憲法をいかして、くらし・雇用・平和を守りましょう。

みなさん、一緒に声をあげましょう。

■みなさん、こんにちは。こちらは、全国労働組合総連合、全労連です。

安倍内閣は、「日本を世界で一番企業が活動しやすい国」にするとして、働くルール、労働法制を大きく壊そうとしています。企業が労働者を自由に解雇できる、サービス残業を合法化する、労働者派遣を自由化するなど、大変な改悪をねらっています。こんなことを許したら、日本はブラック企業だらけになってしまいます。ILO・国際労働機関はディーセントワーク、働きがいのある人間らしい仕事を実現しようと訴えています。下がり続けている賃金を 引き上げさせましょう。非正規ではなく、正規労働者をふやしましょう。貧困と格差の拡大を許さず、ワーキングプアをなくしましょう。

■みなさん、こんにちは。こちらは、全国労働組合総連合、全労連です。

私たちは、「憲法をいかし、くらし・雇用・平和を守ろう」、「ストップ!『戦争する国』づくり かがやけ憲法! 全労連全国キャラバン」行動にとりこんでいます。

安倍内閣は、憲法違反の集団的自衛権の行使を認める閣議決定を行いました。

「集団的自衛権」は、日本を守ることに、国民を守ることにとは 全く関係ありません。

集団的自衛権は、日本が攻撃されてもいないのに、

アメリカの戦争に参加して、海外で一緒に戦うというものです。

自衛隊員が戦闘地域に派遣され、人を殺し、殺される戦争に参加することになってしまいます。

そんな戦争への道は、ごめんです。

平和憲法を守れ、自衛隊を戦地に送るなの声を一緒に広げましょう。

■みなさん、こんにちは。こちらは、全国労働組合総連合、全労連です。

四月から、消費税が8%に増税され、国民生活は火の車です。消費が落ち込み、景気の低迷も始まり、日本経済に深刻な影響が広がり始めています。これを10%に増税するなど、とんでもないことです。

みなさん、安倍内閣は、庶民には消費税の大増税を押し付けながら、その一方で大企業には法人税の大減税。そして、社会保障制度をさらに切り捨てようとしています。生活保護・年金の切り下げにつづいて、医療・介護制度の大改悪も心配です。憲法25条は、「すべての国民に、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利があること」を保障しています。国には、この生存権を保障する義務があります。

「消費税増税は中止せよ」「教育と社会保障を拡充せよ」、の声を一緒に上げましょう。

■みなさん、こんにちは。こちらは、全国労働組合総連合、全労連です。

私たちは、「憲法をいかし、くらし・雇用・平和を守ろう」、「ストップ！『戦争する国』づくり かがやけ憲法！ 全労連全国キャラバン」行動にとりこんでいます。

憲法9条は、「戦争はしない」「武力を使わない」と定めています。

この9条があったから、自衛隊は、発足以来60年間、

他国の人を一人も殺さず、一人の戦死者も出していません。

憲法9条があったから、日本は戦争をしない国として、世界の信頼を得てきました。

いま、世界では武力に頼るのではなく、外交による平和的な解決をめざす動きが強まっています。

今こそ、憲法9条を守り、いかそうと、一緒に声を上げ 平和外交の先頭に立つ日本にしていきましょう。

■みなさん、こんにちは。こちらは、全国労働組合総連合、全労連です。

安倍内閣は、『戦争する国』の人づくりのために、教育を大きく変えようとしています。

戦争を「正しい」と教える教科書を子どもたちにおしついたり、

かたよった「愛国心」を植えつけようとしています。

戦前は、国が教育内容にまで口出しをして、『お国のために戦って死ね』と教えました。

『戦前の教育』の過ちを繰り返してはなりません。

子ども達を戦争に駆り立てるような教育を、再び繰り返してはなりません。

子どもと教育を守るために、一緒に力を合わせましょう。